

令和3年4月27日

守谷市長 松丸 修久 様

総合計画検討特別委員会

委員長 寺田 文彦



第三次守谷市総合計画の基本構想に関する提案について

令和3年4月22日に開催された総合計画検討特別委員会の会議において提示された第三次守谷市総合計画の基本構想について、下記のとおり提案いたします。

令和3年4月28日開催の守谷市総合計画審議会の会議において、当委員会の提案を踏まえて審議していただけますようお願いいたします。

記

- 1 資料3ページ「守谷市はこんなまちです」の囲み部分の3つ目の見出しに「人口は増加基調、活力あるまち」とあるが、文中では「ただし高齢化が進んでおり、生産年齢人口は停滞傾向にあります」と記載されており、相反する内容となっているので見直しが必要ではないかと考える。
- 2 資料5ページの左側の吹き出しに「多彩なケアの提供で元気なシニアが生涯活躍」とあるが、「ケア」の言葉からは介護や世話ということが想起されるため、「多彩なサポートの提供」といった表現の方が妥当であると考えます。
- 3 資料5ページのイラストについて、「持続可能なまちに向けた取組」が具体的に伝わるようなイラストにしていきたい。
- 4 資料7ページから8ページの「5 将来指標」において、「人口と世帯、年齢構成、決算額の推移、財政力指数等の推移」に関する表が示されているが、この表の中に令和4年から令和13年までの目標値を定めることにより、より具体的な将来構想になると考える。
- 5 まちづくりの方向性として、カーボンニュートラルや脱炭素社会の実現に向けた事項を含めることが必要であると考えます。